

目の健康

眼圧を下げる治療で 視野狭窄の進行抑制

緑内障治療の目的は、見え方を維持して、今以上に目で不自由な思いをしないうようにすることです。目標は「視野が狭くなる速度を抑える」です。

治療のメインは眼圧を下げて安定させることです。一般的な治療の流れをご紹介します。まず、眼圧が上がる原因で決できるものは解決します。原因が白内障なら白内障手術、糖尿病なら網膜レーザー治療、ぶどう膜炎なら消炎、ステロイド使用で眼圧が上がっていきそうならステロイド中止を試みます。

緑内障の目薬を始め、前に何度か眼圧を測り、それより低い眼圧を目標に設定します。緑内障の目薬で眼圧を下げていき、不十分であれば目薬の変更や手術を考えます。時々視野検査などをして治療効果を評価し、必要があれば目標眼圧を低く再設定して治療を強化します。これをひたすら繰り返します。

緑内障の治療は何十年と長く続きます。し

かし、患者さんの4人に1人が自己中断してしまいます。「面倒くさい」「治ってよく実感が無い」「症状がなくて困っていない」などが理由ですが、治療するしないでも10年先は大きく変わってしまいます。私は、根気よく治療を続けてもらうため、受診のたびに現状と今後の道のりをお伝えして、経過が良いときは大げさに喜び、トラブルが起きたときは患者さんと一緒に考えるようにしています。

次号からは、目薬、レーザー治療、手術といった具体的に眼圧を下げる方法を紹介していきます。



宇井 理人 先生

プロフィール

北里大学北里研究所病院
宮久保眼科非常勤医師
＜専門＞緑内障、眼科一般